## バイオペースト殺菌試験



### ジンジバリス菌 (歯周病菌)



第 16000977001-0201 号 page 3/10

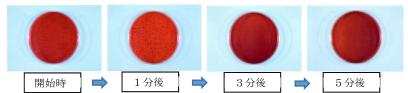
試験菌	対	象	濃度	生菌数 (/g)			
				開始時"	1分後	3分後	5分後
ジンジバリス菌	検	体	2倍希积	$2.6 \times 10^7$	$8.1 \times 10^{5}$	<100	<100
	対	脷	***	2.6×10 <sup>7</sup>	$2.6 \times 10^7$	1.7×10 <sup>7</sup>	1.8×10 <sup>7</sup>
カンジダ	検	体	2倍希釈	3.7×10 <sup>5</sup>	7.1×10 <sup>4</sup>	3, 2×10 <sup>3</sup>	1.7×10 <sup>2</sup>
	対	照	strateste	3.7×10 <sup>6</sup>	_	_	5.4×10 <sup>5</sup>

- : 実施せず

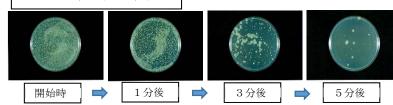
対照:精製水

保存温度: 室温(カンジダは30 ℃) <100:検出せず

\* 菌液接種直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした。



カンジタ菌(カビ菌)



「殺菌試験」結果解説 バイオペーストを2倍希釈にて実施

- ジンジバリス菌(歯周病菌) 1分後に5%に減少、3分後以降は検出せず
- カンジタ菌(カビ菌) 1分後に20%に減少、3分後に約1%に減少、5分後に約0.05%に減少

## バイオペースト抗菌試験



第 16000977001-0101 号 page 4,

#### 4 試験結果

結果を表-3に示した。また、培養終了時の平板培地の一例を写真-1~6に示した。

試験菌	菌濃度(/mL)	対	象	濃 度	ハローの有無*3			
				2倍希釈*1	+ (16.2 mm)			
		検	体	5倍希积*2	+ (4.8 mm)			
ジンジバリス菌	$4.6 \times 10^{6}$			10倍希釈*2	+ (2.0 mm)	写真・1 グンジバリス国 教体 2倍音収収	写真-5 ジンジバリス業 被称 10代表収役	写真-4 カンジダ 検佐 3倍単数後
		対	照*2	***	-			
				2倍希釈*1	+ (2.5 mm)			
カンジダ	7. $3 \times 10^6$		体	5倍希积*2	-			
				10倍希积*2	-			
	2-	対	照*2	***	_	写真-1: ジンジバリス質 操体 1倍布管液	写真一 カンジゲ 軟体 2分布定律	写真っ カンジダ 境体 1992名表表

+:ハローを認める

-:ハローを認めず

「抗菌試験」結果解説 (試験期間二日間)

- ジンジバリス菌(歯周病菌)については、10倍希釈でも抗菌効果が認められた
- カンジタ菌(カビ菌)については、2倍希釈まで抗菌効果が認められた



## 『A型インフルエンザウイルス』不活化試験

試験番号 : AVSAVSAVS-047 -160205 (2) (編集)

#### 試験目的

試験委託者から提供された被物質「歯磨きペーストタイプ」についてのウイルス不活化作用の評価を目的と した。本試験では「A型インフルエンザウイルス」を試験対象とした。

#### 被験物質: 歯磨きペーストタイプ

対象ウイルス	処理時間	ウイルス不活化効率 (単位:%)
A型インフルエンザウイルス	5 min.	> 99.98
(株名:A/WSN/33, H1N1)	30 min.	> 99.91

### 試験結果

被験物質「歯磨きペーストタイプ」はA型イン フルエンザウイルスに対して、5分間並びに30 分間の処理によって、本試験系の検出限界以下 にまで感染性ウイルス力価を低減させることが 確認された。※歯磨きペーストタイプは「バイオペースト」

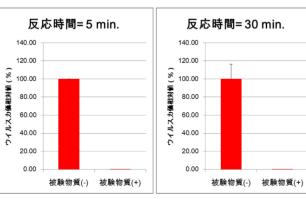


Fig.1: インフルエンザウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~ グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群(陰性対照群)の感染性ウイ ルスカ価を 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示し ており、試験は N= 2 (duplicate) で実施した。

# 『ノロウイルス (ネコカリシウイルス)』 不活化試験

試験番号 : AVSAVSAVS-047 -160205 (2) (編集)

### 試験目的

試験委託者から提供された被物質「歯磨きペーストタイプ」についてのウイルス不活化作用の評価を目的と した。本試験では「ネコカリシウイルス」を試験対象とした。

#### 被験物質: 歯磨きペーストタイプ

		ウイルス不活化効率
対象ウイルス	処理時間	(単位:%)
ネコカリシウイルス (株名:F9)	5 min.	> 99.98
(株石:F9) ※ヒトノロウイルス代替	30 min.	> 99.81

表 2: 本試験結果の総括

#### 試験結果

被験物質「歯磨きペーストタイプ」はネコカリ シウイルスに対して、5分間並びに30分間の 処理によって、本試験系の検出限界以下にまで 感染性ウイルス力価を低減させることが確認 された。※歯磨きペーストタイプは「バイオペースト」

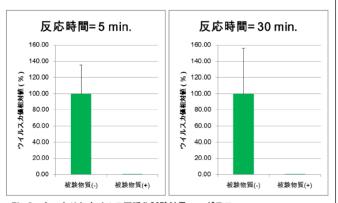


Fig.2: ネコカリシウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~ グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群(陰性対照群)の感染性ウイ ルス力価を 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示 しており、試験は N= 2 (duplicate) で実施した。